



長萩和牛の仕掛人!!

外乱による影響

その後、仕入れが安定するようになってからは、資本を2回増やし、併せて販路を拡大。事業は軌道に乗り順調に拡大していくことができました。そうして、平成10年には、新社屋を現在の場所に設立し本社を移転。作業場も併設し加工品の製造も始め、更なる事業拡大に向け意気込んでいた矢先、牛肉業界を一変する事件がアメリカで発生します。BSE問題です。

「山口県産の牛肉の価値をどうにか高められないか?」という一言からでした。以前から地場のものを販売したいと考えていたので、ニーズがあるのらと動き始めます。それまで黒毛和種に關わってはいたものの、地元で黒毛和種を肥育している業者がどれだけあるのかも知りませんでした。

まず地元業者を調べることから始め、そうして出会えたのが、長沢台生産組合さんでした。しかも、A4ランクの良質の肉をコンスタントに出荷し、なおかつブランド化されていない。可能性を感じました。また、仲の良い先輩から「商標登録してみては?」とアドバイスをいただき、平成23年、長沢台で生産され、弊社が販売する精肉を「長萩和牛」として商標登録します。

徐々にブランド力が高まるとともに、初年度は月1頭だったのが1年後には月2頭と販売量も増えてきました。更に、先の全国和牛共進会で長沢台生産組合さんが優等賞を受賞され、昨年末には月3頭を販売するほどになっています。このまま販売数を増やせばとは思いますが、肉質の良い牛を育てることはたやすいものではなく、出荷量は限られます。そのため、我が社が努めることは、更にブランド力を高め、利幅を増やし、生産者である長沢台生産組合さんにも還元することだと考えます。

昨年10月長崎県で開催された第10回全国和牛共進会で、見事第9区優等賞を受賞し、その肉質が全国トップレベルであることを知らしめた萩市長沢台で生産される黒毛和牛「長萩和牛」。そのブランドリングの仕掛け人であり、外食産業用食肉、食材卸業の(有)萩ミート販売代表取締役・岡崎 智さんにお会いしお話を聞きました。

北九州に本社を移し、萩から撤退することが決まりました。さすがに北九州に転居することはできない。それに、市場が無くなったわけではないので、自分たちで新しく会社を立ち上げれば、それまで通り生活できるのではないかと、力を合わせ平成3年に萩ミート販売を設立します。

同僚と

萩ミート販売は、先代社長と私を含め役員となった3名と従業員1名で22年前に立ち上げた会社です。元々、その4名は萩市にあった食肉卸業者に勤めていた同僚で、バブル崩壊後、同社他部門の経営状況が悪くなり、社長の地元であ

立ち上げ当初一番困ったのは仕入れ先の確保でした。扱う商品は前の会社と同じホルモン。ホルモンは出荷する屠場も限られており、ましてや前の会社と同じところから仕入れるわけにもいかなないので、小さい屠場で少量の出荷があるという聞き、出向き、手当たり次第仕入れていました。売り先はあるのに仕入れることができないもどかしい状況が2、3年続いたと思います。

長萩和牛を商標登録

そんな私どもが地産の牛肉のブランドリングに取り組んだのは、取引先である市内宿泊施設代表

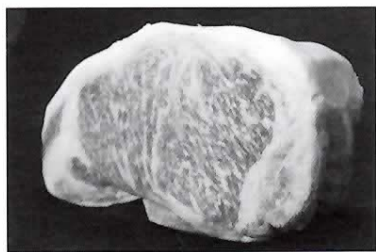
後押しと追い風

萩阿西商工会からスタートした

長萩和牛のブランド展開は、県商工会連合会の後押しもあり、その後、長萩和牛を野村萩市長が口にされ気に入ってもらえたようので、萩市からの応援も追い風となりました。また、山陽側の飲食店グループとの契約も取れ

有限会社 萩ミート販売

〒758-0411
萩市大字明木 3701-1
TEL: 0838・55・0298
業種: 外食産業用食肉・食材卸
年商: 2億8,000万円
従業員数: 13名(役員含む)



長萩和牛サーロイン
☆ステーキ(240g)2枚セットを
2名様にプレゼント!